

GNCJ設立の経緯

我が国には優れた技術を持つ地域企業が数多くありますが、その技術力をイノベーションにつなげ、世界の市場をリードする新しい流れを作り出すまでには至っていない事例が少なくありません。このため、政府としては、ローカルイノベーションによって地方に良質な「しごと」を創出するために、「日本型イノベーション・エコシステム」の構築を目指すこととなりました。

(※下記囲み参考)

これに基づき、グローバル・ネットワーク協議会（GNCJ：Global Network Council Japan）は、2016年6月9日、経済産業省、内閣官房、文部科学省等が連携して地域企業のグローバル展開等を支援し、地域からイノベーションを起こして地域経済を活性化させる新しい「日本型イノベーション・エコシステム」の核となる推進組織として設立されました。

2017年7月には地域未来投資促進法が施行され、地域中核企業のみならず、地域未来牽引企業等、地域経済を牽引する企業の皆様に対する支援体制が強化されました。

参考：GNCJ設立の背景

「日本再興戦略 2016」および「まち・ひと・しごと創生基本方針 2016」（いずれも2016年6月2日閣議決定）において、以下の方針が示されました。

- ①地域経済を牽引する地域中核企業等による先導的なプロジェクトを、2016年度以降、毎年200程度を目安に、5年間で約1,000支援する。
- ②グローバル・ネットワーク協議会を設置し、国際市場に通用する事業化等に精通した専門家からなるグローバル・コーディネーターを組織化し、グローバル市場も視野に入れた事業化戦略の立案や販路開拓等を支援する。